

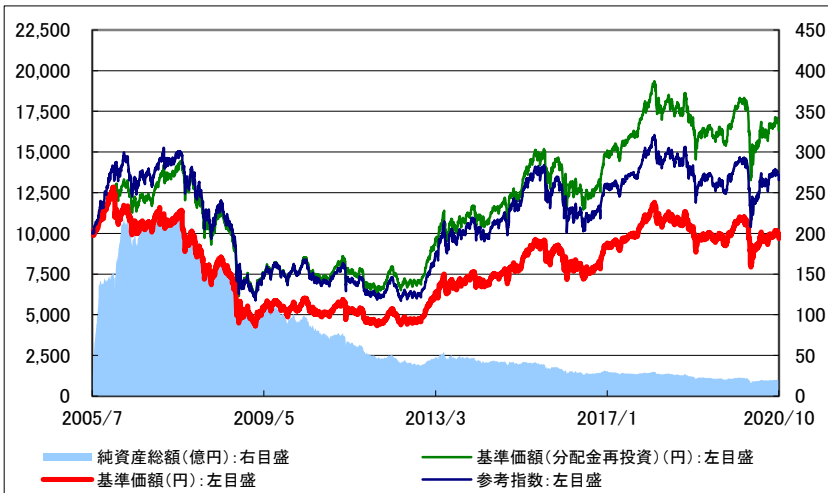
ニュー配当利回り株オープン 《愛称: 配当物語》

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

基準価額の推移



- ※ データは、当初設定日から作成基準日までを表示しています。
- ※ 基準価額(分配金再投資)は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。
- ※ 基準価額は、信託報酬控除後です。
- ※ 参考指数は、TOPIX(東証株価指数)です。当初設定日を10,000として指数化しています。

基準価額、純資産総額

	当月末	前月末比
基準価額	9,687 円	- 323 円
純資産総額	19.12 億円	- 0.70 億円

期間別騰落率

	ファンド	参考指数	差
1カ月	-3.23%	-2.84%	-0.39%
3カ月	4.07%	5.57%	-1.49%
6カ月	4.63%	7.88%	-3.25%
1年	-6.05%	-5.26%	-0.79%
3年	-8.05%	-10.57%	2.52%
設定来	63.06%	32.69%	30.37%

※ ファンドの騰落率は、分配金(税引前)を再投資したものと計算しています。

TOPIX(東証株価指数)とは、株式会社東京証券取引所(以下「東証」)が算出、公表する指数で、東京証券取引所市場第一部に上場している内国普通株式全銘柄を対象とした時価総額加重型の株価指数です。同指数は、東証の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関する全ての権利は、東証が有しています。なお、東証は、ファンドの設定又は売買に起因するいかなる損害に対しても、責任を有しません。

分配の推移(1万口当たり、税引前)

設定来分配金合計額 4,940 円

決算期	2019年7月	2020年1月	2020年7月
分配金	60 円	60 円	60 円

※ 運用状況によっては、分配金額が変わる場合、あるいは分配金が支払われない場合があります。

個別銘柄が基準価額の変動に与えた影響度(月間、概算)

プラス要因銘柄	寄与額	マイナス要因銘柄	寄与額
TDK	+15円	SCSK	-36円
アズビル	+10円	伊藤忠テクノソリューションズ	-33円
デンソー	+9円	伊藤忠商事	-22円
日本電信電話	+6円	協和エクシオ	-19円
Zホールディングス	+6円	武田薬品工業	-19円

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>

- 当資料は三井住友トラスト・アセットマネジメントが作成したものであり、金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- ご購入のお申込みの際は最新の投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 投資信託は値動きのある有価証券等(外貨建資産には為替変動リスクを伴います。)に投資しますので基準価額は変動します。したがって、投資元本や利回りが保証されるものではありません。ファンドの運用による損益は全て投資者の皆様へ帰属します。
- 投資信託は預貯金や保険契約とは異なり預金保険機構および保険契約者保護機構等の保護の対象ではありません。また、証券会社以外でご購入いただいた場合は、投資者保護基金の保護の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると判断した各種情報等に基づき作成していますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。また、今後予告なく変更される場合があります。
- 当資料中の図表、数値、その他データについては、過去のデータに基づき作成したものであり、将来の成果を示唆あるいは保証するものではありません。また、将来の市場環境の変動等により運用方針等が変更される場合があります。

ニュー配当利回り株オープン <<愛称:配当物語>>

追加型投信/国内/株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

資産の状況

※ 当ページの数値はマザーファンドベースです。

資産内容

株式	93.79%
株式先物取引	1.98%
短期金融資産等	4.23%
合計	100.00%

※ 対純資産総額比です。

特性値

予想配当利回り	3.45%
銘柄数	74

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に組入銘柄の予想配当利回りを加重平均して算出した値(対純資産総額比)です。また、ファンドの運用利回り等を示唆するものではありません。

組入上位10業種

	業種	ファンド	参考指数
1	情報・通信業	20.16%	10.51%
2	電気機器	14.38%	16.18%
3	卸売業	8.80%	4.55%
4	銀行業	7.55%	4.74%
5	輸送用機器	7.38%	7.13%
6	サービス業	5.43%	5.75%
7	建設業	5.30%	2.38%
8	機械	4.43%	5.53%
9	保険業	4.39%	1.97%
10	電気・ガス業	3.42%	1.40%

※ 対現物株式構成比です。

組入上位10銘柄

	銘柄	業種	比率	予想配当利回り
1	トヨタ自動車	輸送用機器	4.28%	3.23%
2	日本電信電話	情報・通信業	3.17%	4.55%
3	伊藤忠商事	卸売業	3.04%	3.52%
4	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	3.02%	6.09%
5	三井住友フィナンシャルグループ	銀行業	3.02%	6.59%
6	東京海上ホールディングス	保険業	2.93%	4.29%
7	伊藤忠テクノソリューションズ	情報・通信業	2.83%	1.77%
8	SCSK	情報・通信業	2.83%	2.50%
9	日立製作所	電気機器	2.58%	2.85%
10	TDK	電気機器	2.35%	1.47%

※ 対純資産総額比です。

※ 予想配当利回り(税引前)は、各種情報を基に当社が算出したものです。

※ 新規上場、合併等により、予想配当利回りが推定できない場合は、「-」で表示しています。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

ニュー配当利回り株オープン 《愛称: 配当物語》

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

ファンドマネージャーのコメント

【市場動向】

国内株式市場は下落しました。

月前半は、新型コロナウイルスに感染したトランプ米大統領が早期の退院となったことや、米国の追加経済対策の早期成立への期待感などから上昇しましたが、米製薬大手企業による新型コロナウイルスのワクチンや治療薬の開発が一時中断されるとの報道や、米国の追加経済対策の早期成立が難航したことなどが重石となりました。月後半は、欧米の新型コロナウイルス新規感染者数が大幅に増加したことや、欧州主要国での外出制限の動きが広まったことなどから経済正常化の遅れが懸念され、下落しました。

【運用実績】

日本電信電話による完全子会社化の発表により上昇したNTTドコモを売却し、業績回復期待から富士電機を購入しました。

【パフォーマンス状況】

基準価額は前月末比マイナスとなり、TOPIXも下回るパフォーマンスとなりました。

業種構成面では、情報・通信業が高めであったことがプラスに影響する一方、電気機器が低めであったことがマイナスに影響しました。個別銘柄では、電池事業が牽引し業績好調が期待できるTDKが上昇しプラスに影響する一方、業績好調もこれまでの上昇の反動からSCSKが下落しマイナスに影響しました。

【市場の見通し】

海外の株式市場は、米国での追加経済対策への失望、欧州での新型コロナウイルスの感染拡大により、経済活動への制限強化の措置から、下落基調となりました。

一方、日本株式は、相対的に新型コロナウイルスの感染者数がおさえられていること、日銀のETF買いなど金融政策などが下支えとなりましたが、欧米株式の下落が重しとなり下落しました。今後も金融政策は期待できますが、米国大統領選挙の不透明感、欧州の感染拡大の日本企業への影響など懸念材料も多く、当面は一進一退の展開になると想定しています。

【今後の運用方針】

運用の基本方針に沿って、予想配当利回りが市場平均よりも高い銘柄を主体とするポートフォリオで臨みます。

当面は配当の原資となる企業業績の安定性にも着目しながら、銘柄選択を進めていきます。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

ニュー配当利回り株オープン 《愛称: 配当物語》

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

ファンドの特色

1. 主として、東京証券取引所第一部上場銘柄に投資し、ファミリーファンド方式で運用を行います。
2. 財務内容の健全性、業績動向、配当方針等を考慮して投資銘柄を選定します。

投資リスク

《基準価額の変動要因》

- ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。
従って、**投資者の皆様のご投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。**
- **信託財産に生じた利益及び損失は、全て投資者の皆様にご帰属します。**
- **投資信託は預貯金と異なります。**

【株価変動リスク】

株価は、発行者の業績、経営・財務状況の変化及びそれらに関する外部評価の変化や国内外の経済情勢等により変動します。株価が下落した場合は、基準価額の下落要因となります。

【信用リスク】

有価証券の発行体が財政難、経営不振、その他の理由により、利払い、償還金、借入金等をあらかじめ決められた条件で支払うことができなくなった場合、又はそれが予想される場合には、有価証券の価格は下落し、基準価額の下落要因となる可能性があります。

※ 基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。

《その他の留意点》

- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、投資信託の純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。
分配金は、計算期間中に発生した収益(経費控除後の配当等収益及び評価益を含む売買益)を超えて支払われる場合があります。その場合、当期決算日の基準価額は前期決算日と比べて下落することになります。また、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。
投資者のファンドの購入価額によっては、分配金の一部又は全部が、実質的には元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がりが小さかった場合も同様です。
- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

ニュー配当利回り株オープン <<愛称:配当物語>>

追加型投信／国内／株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

お申込みメモ

- 購 入 単 位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購 入 価 額 … 購入申込受付日の基準価額とします。
(基準価額は1万口当たりで表示しています。)
- 換 金 単 位 … 販売会社が定める単位とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 換 金 価 額 … 換金申込受付日の基準価額から信託財産留保額を差し引いた価額とします。
- 換 金 代 金 … 原則として、換金申込受付日から起算して4営業日目からお支払いします。
- 申 込 締 切 時 間 … 原則として、販売会社の営業日の午後3時までとします。
- 換 金 制 限 … ファンドの規模及び商品性格などに基づき、運用上の支障をきたさないようにするため、大口の換金には受付時間及び金額の制限を行う場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
- 購入・換金申込受付 … 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金のお申込みの受付を中止すること、及び取消し … する、及びすでに受け付けた購入・換金のお申込みの受付を取り消す場合があります。
- 信 託 期 間 … 無期限(2005年7月25日設定)
- 繰 上 償 還 … 次のいずれかの場合には、委託会社は、事前に受益者の意向を確認し、受託会社と合意のうえ、信託契約を解約し、信託を終了(繰上償還)させることができます。
・受益権の口数が5億口を下回ることとなった場合
・ファンドを償還することが受益者のために有利であると認める場合
・やむを得ない事情が発生した場合
- 決 算 日 … 毎年1月、7月の各25日(休業日の場合は翌営業日)です。
- 収 益 分 配 … 年2回、毎決算時に原則として収益分配を行う方針です。
- 課 税 関 係 … 課税上は株式投資信託として取り扱われます。
公募株式投資信託は税法上、少額投資非課税制度及び未成年者少額投資非課税制度の適用対象です。
なお、配当控除の適用が可能です。益金不算入制度の適用はありません。

ファンドの費用

《投資者が直接的に負担する費用》

■ 購入時手数料

購入申込受付日の基準価額に**2.2%(税抜2.0%)を上限**として販売会社が定める率を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

■ 信託財産留保額

換金申込受付日の基準価額に**0.3%**の率を乗じて得た額を、換金時にご負担いただきます。

《投資者が信託財産で間接的に負担する費用》

■ 運用管理費用(信託報酬)

純資産総額に対して**年率0.99%(税抜0.9%)**

■ その他の費用・手数料

監査費用、有価証券の売買・保管、信託事務に係る諸費用等をその都度(監査費用は日々)、ファンドが負担します。これらの費用は、運用状況等により変動するなどの理由により、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 上記の手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、上限額等を事前に示すことができません。

※ 詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)の「お申込みメモ」、「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。

ニュー配当利回り株オープン <<愛称:配当物語>>

追加型投信/国内/株式

当初設定日 : 2005年7月25日

作成基準日 : 2020年10月30日

委託会社・その他の関係法人の概要

- 委託会社 三井住友トラスト・アセットマネジメント株式会社(ファンドの運用の指図を行う者)
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第347号
 加入協会 : 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会
 ホームページ : <https://www.smtam.jp/>
 フリーダイヤル : 0120-668001 受付時間 9:00~17:00 [土日・祝日等は除く]
- 受託会社 三井住友信託銀行株式会社(ファンドの財産の保管及び管理を行う者)

販売会社

商号等	登録金融機関	登録番号	加入協会			
			日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
株式会社ジャパンネット銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第624号	○		○	
三井住友信託銀行株式会社 ※	登録金融機関	関東財務局長(登金)第649号	○	○	○	
auカブコム証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第61号	○	○	○	
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号	○		○	○
岡三にいがた証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第169号	○			
松井証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第164号	○		○	
マネックス証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第165号	○	○	○	
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号	○	○	○	○

※ 2012年4月2日以降、新規の買付けを停止しており、換金のための受付となります。
 (ただし、累積投資コースの分配金再投資は引き続き行われます。)

- ・ お申込み、投資信託説明書(交付目論見書)のご請求は、販売会社へお申し出ください。
- ・ 販売会社は今後変更となる場合があります。

<本資料のお取扱いにおけるご留意点>を必ずお読みください。